

1 投稿者

(1) 氏 名：B さん

(2) 勤務先：秋田市内高校

2 投稿記事本文

私は、令和6年に、自衛隊秋田地方協力本部を定年退職しました。定年後は、秋田地域援護センター及び秋田県自衛隊退職者雇用協議会のご尽力により、秋田市内の高校の用務員として勤務しております。もともと、学校教育現場というものに関心・興味があったこともあり、求人票を基に決意した次第です。

内定をいただき、研修期間中は、前任者のもとで約2ヶ月間、業務の引き継ぎを行いました。思いのほか多種多様な業務内容であり、自分が今後やっていけるか不安な思いでいっぱいになりました。しかしながら、前任者のアドバイスが懇切丁寧であり、徐々にではありますが不安が解消されていったことを思い出します。業務内容は、校舎内外の清掃等の環境整備、破損・故障、不具合等の修繕、学校の開錠・施錠、その他依頼された事項（これがなかなか創意工夫や技術を要する作業だったりするわけです。(笑))、いわゆる「何でも屋さん」的な業務を行っております。当初は、不安な気持ちが自身の多くを占めておりましたが、現在は、生徒からの挨拶はもちろん、最近では気軽に接してくれる生徒も増えてきており、楽しくもあり、非常に充実した毎日を過ごしております。生徒との触れ合いを通じて新たに学ぶことも多々あり、自衛隊生活で培った能力のみならず今後の人生において必要なことはまだまだ沢山あると日々実感しております。自衛官の頃は、座右の銘として「人間日々成長、人生は日々勉強」を戒めとしておりましたが、改めてこの言葉を痛感する今日この頃です。